

第20回けんぶち絵本の里大賞授賞式

受賞者歓迎しセプション



2月20日(日)、レークサイド桜岡1階大ホールにて、「第20回けんぶち絵本の里大賞授賞式&受賞者歓迎しセプション」が開催されました。

昨年8月〜9月に行われた「けんぶち絵本の里大賞投票」で、318点の作品から見事大賞に輝いた「ちゅーちゅー」、びばがらす賞に「もったいないばあさんのいただきます」、うんこ、「くろくとなぞのおぼけ」が選ばれました。

佐々木町長からは、「第20回目を迎えることができ、大変うれしく思います。また、多くの参加者の皆さんや作家と出版社の方々も引き、年々授賞式がすばらしいものになってきています。人口は3,600人と少ないですが、絵本の里は全国的に認められています。そして出版されている絵本の裏表紙に、第〇回けんぶち絵本の里大賞受賞と記載されていることは、町としても大変誇りに思っています。これからも絵本の里づくりにますますのご協力をよろしく願います」と述べられました。

大賞を受賞した宮西達也さんは、「今回で計8回の受賞を達成でき、とてもうれしいです。これから

みなさんが、もっと絵本を好きになってくれるといいなと思います。」と述べられました。

授賞式後は、受賞された作家さんのスピーチ、受賞作品の絵本が当たる抽選会、宮西さん提供の子ども限定のぬいぐるみが当たる抽選会など、会場のみなさんが笑顔に包まれ、時には笑いに包まれました。



宮西 達也さん(写真右)

絵本の里大賞受賞作品

「ちゅーちゅー」

真珠 まりこさん(写真右から2番目)

びばがらす賞受賞作品

「もったいないばあさんのいただきます」

サト シンさん(写真左から2番目)

西村 敏雄さん(写真左)

びばがらす賞受賞作品

「うんこ」

なかや みわさん

びばがらす賞受賞作品

「くろくとなぞのおぼけ」

♪絵本作家が来るよ♪



▲各賞を受賞した作家の方たちが小学校に来て先生に早変わり。小学生の皆さんはいつもと違った授業を真剣に聞き、時には笑い時には考え、充実した時間を過ごすことができました。作家の方たちも、普段なれていない先生役を手慣れたようにこなし、子どもたちを笑顔にしていました。

写真は左から、3・4年生を担当した真珠まりこ先生。1・2年生を担当した宮西達也先生。6年生を担当したサトシン先生と西村敏雄先生、語り部の神保康子さん。5年生は、昨年も先生を務めた児童文学者の加藤多一さんが担当しました。